

～男女共同参画の視点から考えてみよう
その表現～

広報物表現 ガイドライン

誰もが、互いにその人権を尊重しあいながら、性別にかかわらず、個性と能力を発揮できることを理念とする男女共同参画社会の形成をめざします



大泉町

もくじ

1 ガイドラインの 対象となるもの

1 ページ

2 広報物の表現にあたって

～男女共同参画の視点から
考慮すべき6つの視点～

2 ページ



視点 1 男性と女性いずれかに偏った表現になっていませんか？

視点 2 性別によってイメージを固定化した表現になっていませんか？

2・3 ページ

視点 3 性別による役割分担を固定観念で表現していませんか？

視点 4 男性を女性より優位的、また、男女間に
主従関係があるような表現をしていませんか？

視点 5 女性を“アイキャッチャー”にいませんか？

4・5 ページ

視点 6 何気なく使っている言葉を男女共同参画の視点で見直しましょう

6・7 ページ

3 メディアリテラシー[※]の 向上を積極的に行いましょう

※メディアリテラシー
テレビや新聞などメディアからの情報を
主体的、批判的に読み解く能力

4 活用にあたって

8 ページ

5 チェックシート

9 ページ

自治体が作成し、発行する広報紙、チラシ、ポスターをはじめとする広報物は、住民にとって公共性が高い“情報”になります。

これらの広報物については表現の自由が保障されますが、一方で表現される側の人権も尊重しなければなりません。「人の心を傷つけない」、「不快感を抱かせない」など人権に配慮した表現が求められます。その上で、性別や年齢、職業や身体的状態の違い、日本語が不得意な外国人等々、多様な受け手に共感が得られるよう『必要な情報を正確に、わかりやすく』伝えることが必要となります。その際には、「伝えたいことをどのように表現していくのか」ということが重要で、配慮を欠くと受け手に反感を持たれてしまいます。また、日頃、無意識のうちに使っている表現が個々では問題なくても、何度も積み重なって届けられると、結果的にひとつの方向性を持ったメッセージとなり、固定観念を形成したり、助長したりする可能性もあります。

誰もが、互いにその人権を尊重し合いながら、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けては、住民一人ひとりの意識の変革が最も重要となります。そのためには、“情報”の発信者である皆さんが、“ジェンダー”[※]について敏感な意識を持ち、男女共同参画の視点に基づいた適切な表現に努めていくとともに、積極的に男女平等や男女共同参画を促していく表現を心がけていく必要があります。

普段、何気なく使っている「あたりまえ」の表現を、男女共同参画の視点で見つめ直していただくとともに、どのような表現がより望ましいのかを考えていただく手がかりとして、このガイドラインを活用していただきますようお願いいたします。

※“ジェンダー” 男女の性別学的な性差でなく、「女はこうあるべき、男はこうあるべき」といった社会的、文化的に作られた性別や性差

1

ガイドラインの対象となるもの

町が発信するすべての“情報”が対象です。広報紙の掲載記事、報告書、パンフレット、ポスター、その他の刊行物、ホームページ、コミュニティ FM、プレスリリース原稿などの文章。その他には、イラスト、写真、映像、音声など留意すべきことは多岐にわたります。

また、日頃、住民の皆さんと接する窓口や電話での対応のほか、会議などで説明する場合においても参考にしてください。

男女共同参画の視点から考慮すべき **6** つの視点

- 視点1** 男性と女性いずれかに偏った表現になっていませんか？
- 視点2** 性別によってイメージを固定化した表現になっていませんか？
- 視点3** 性別による役割分担を固定観念で表現していませんか？
- 視点4** 男性を女性より優位的、また、男女間に主従関係があるような表現をしていませんか？
- 視点5** 女性を“アイキャッチャー”にいませんか？
- 視点6** 何気なく使っている言葉を男女共同参画の視点で見直しましょう

視点1

男性と女性いずれかに**偏った**表現になっていませんか？

“情報”の多くは、性別や老若男女を問わず、すべての住民に関わるものがほとんどです。広報物の表現において登場人物が極端に男性と女性のどちらかに偏ったり、どちらかを排除したりしていると、その内容が男女双方に関係している場合でも、伝えるべき相手に正しく伝わらず、誤解を与えてしまいます。文章はもちろんイラストや映像などのすべての分野で男性と女性のバランスに配慮した表現にしましょう。

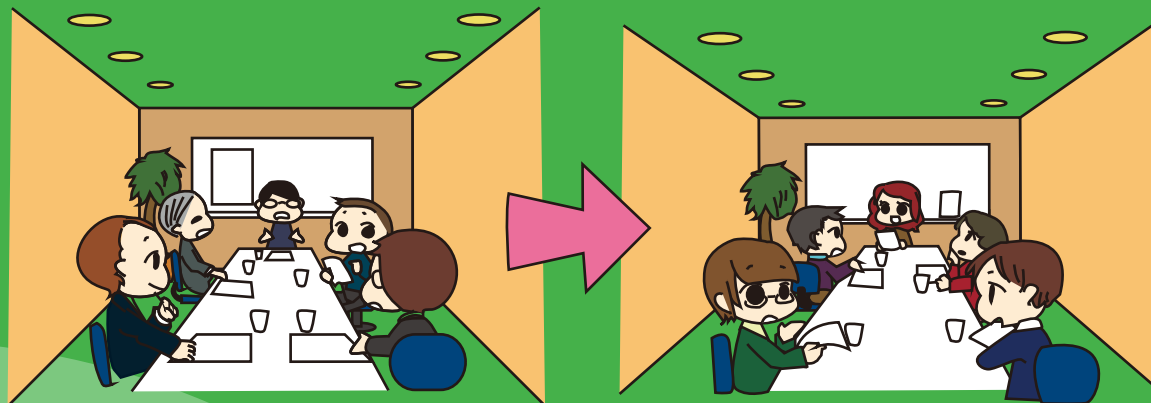
視点2

性別によってイメージを**固定化**した表現になっていませんか？

服装や外見、趣味や関心事、性格や振る舞いなどについても、これまでの固定化された観念で表現してしまうことが多くあります。好みや行動は性別によって決まるものではなく、人それぞれの個性によることが多いものです。

男の子も女の子もいろいろな遊びをしており、また、男性も女性もさまざまなことに興味や関心を持って活動しています。行動的でスポーツ万能な女性もいれば、細やかな気配りができ、料理が得意な男性もいます。そうした現実を踏まえた表現にしましょう。

視点1 男性と女性 偏った表現



サラリーマンのための



〇〇制度ができました

社会で働く人のために



視点2 性別によって 固定化した 表現



視点3

性別による役割分担を**固定観念**で表現していませんか？

性別に関係なく、男性、女性ともさまざまな職業についています。また、家庭や地域での役割分担も多様化しています。男性、女性がお互いに仕事や家事・育児で協力し、さまざまな職業に就いている現実を反映させる表現にしましょう。

さらに、少子化の問題を解決する方法のひとつとして、子育てしやすい環境づくりがあげられます。子育てや家庭での仕事は女性だけが担うものではなく、男性もそれらの役割を担っている姿を表現しましょう。

視点4

男性を女性より**優位的**、また、男女間に**主従関係**があるような表現をしていませんか？

家庭・地域・職場などのあらゆる場において、男性も女性も、多様な役割を持って活動しています。男性を優位的に、また男性が上で女性が下といった主従関係があるかのように見てとれる表現にならないようにしましょう。

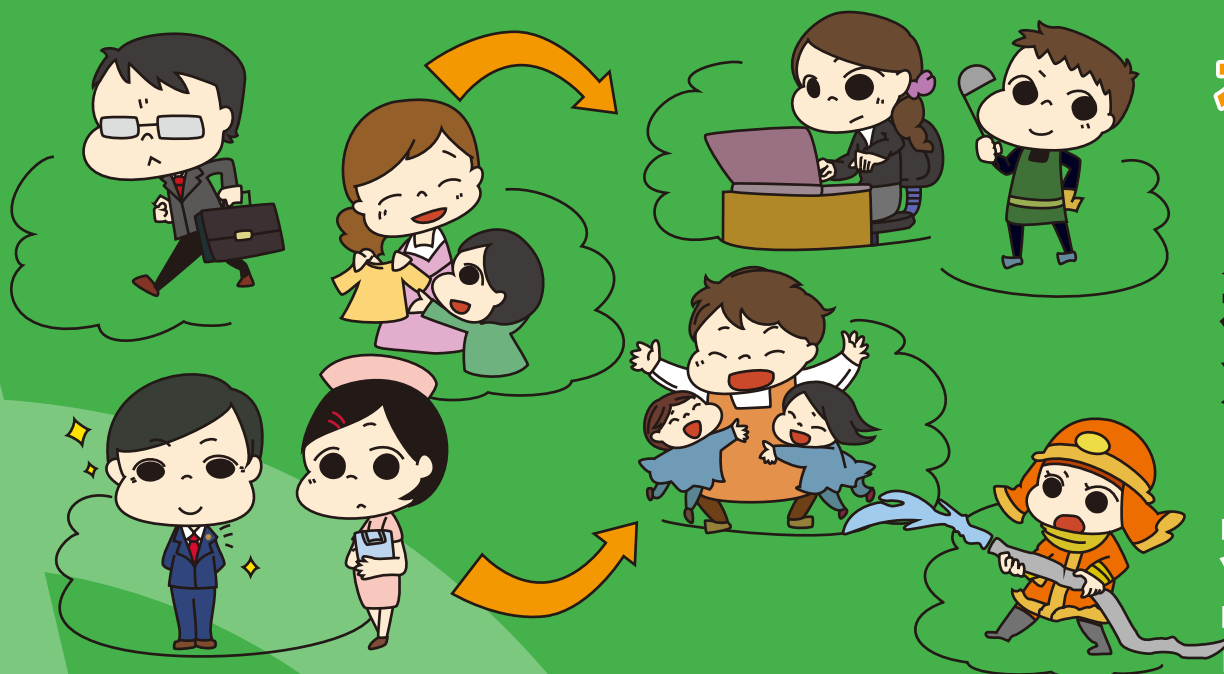
視点5

女性を“**アイキャッチャー**”にいませんか？

広告などを注目させるために取り入れる視覚的要素のことを“アイキャッチャー”といい、広告手法のひとつといわれています。単に人目を引くためだけの目的で、ポスターなどに若い女性を掲載することなどがその例です。

若い女性を掲載するとソフトな印象を与えるかもしれませんが、広報のテーマやねらいとは無関係に女性を用いることは、女性を『飾り物』として取り扱っていると受け取られかねません。『伝えたいものは何か』をよく考え、伝える内容や目的に合った表現方法を工夫しましょう。

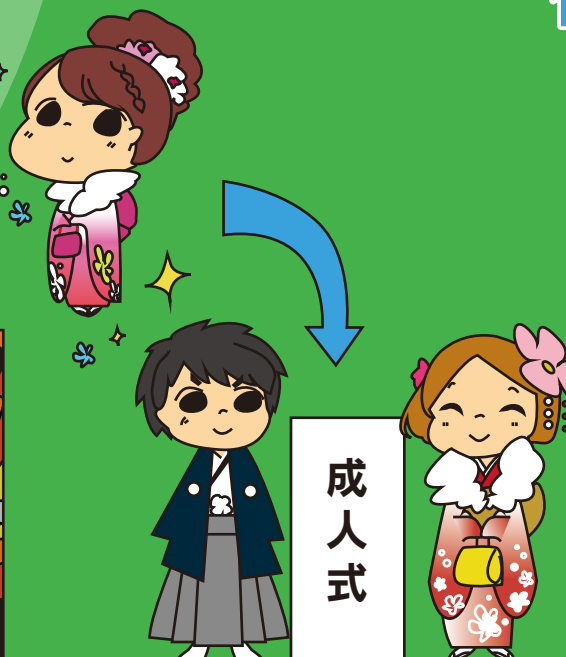
視点3 性別による役割分担を固定概念で表現



視点4 優位的 または主従関係があるような男女間の表現



視点5 女性をアイキャッチャーに



視点6

何気なく使っている言葉を男女共同参画の視点で見直しましょう

言葉の表現は、ストレートに伝わることから強い影響力を持ちます。日頃、何気なく使っている言葉にも、従来の習慣やしきたり、男性と女性の性差による固定化されたイメージが反映されている場合があります。家族構成の多様化や社会情勢が急速に変化している現在、言葉も適切に対応できているか、人権にも配慮されているのか見直しをしてみましょう。

ちょっと見直してみましょう！【言葉の表現例】

見直したい表現	望ましい表現	見直しの理由
子育て中のお母さんのため～	子育てをしている人のため～	性別役割分業意識に基づいた表現です。
内助の功 女房役 主人、旦那、亭主 奥さん、家内	協力 補佐役 夫 妻、パートナー	男が主で、女性は家において、補助的な役割をしているようなイメージがあります。
サラリーマン、ビジネスマン 助産婦 フレッシュマン 行政マン キーマン スチュワーデス 保母、保父	会社員、労働者 助産師 新人、新入社員など 自治体職員、市職員など キーパーソン 客室乗務員 保育士	職業などを性別で限定・区別しています。
嫁をもらう、やる、嫁ぐ 舅、姑 婿、嫁	結婚する 妻（夫）の父、妻（夫）の母 娘の夫、息子の妻	当時の家父長制度に基づいた表現です。
帰国子女 師弟	帰国児童、帰国生徒、帰国学生 生徒と先生	性別を含んだり意味したりする言葉です。どちらの性別でも対応できる配慮が必要となります。

見直したい表現	望ましい表現	見直しの理由
父兄	父母、保護者など	どちらかの性を排除したり、どちらかの性に偏ったりしています。
男勝り 女だてらに 女々しい 男らしい決断 優男 男顔負け 女性ならではの	使用しない	個性を無視した表現です。
女子高生、女子大生 女医 婦人警官 女性議員 女子アナ 女教師 女性初	高校生、大学生 医師 警察官 議員 アナウンサー 教師 使用しない	女性の場合に限り、性別を強調したり、特別視したりすることにつながります。
良妻 才女 未亡人 OL 後家	男性に対しての対となる言葉がない場合、原則使用しない。	女性に対する表現のみで、男性に対しての表現が無い場合、女性に対する蔑視や偏見が含まれていることもあります。
職場の花、看板娘、きれいどころ	使用しない	女性を鑑賞の対象とした表現です。
美人警察官 美人選手	警察官 選手	女性を容姿で評価する性差別的な見方に基づいた表現です。
女子供	使用しない	女性や子供を男性よりも低く位置付けています。

※他先進自治体の表現を参考にしました。

- 表にあげた表現は一例にすぎませんが、女性、男性、どちらにも使える対等な表現になるように注意しましょう。
- 男女共同参画の視点で言語を見直す基準については、男性と女性を入れ替えてみて『変だな』と感じるかどうか判断の目安となります。例えば『女医』という言葉がありますが、『男医』とは言いません。基本的に、問題かもしれないと思ったらその表現は使わないようにしましょう。

3 メディアリテラシーの向上を積極的行いましょう

情報化社会といわれる現代、テレビや新聞などのマスメディアをはじめ、さまざまな媒体から膨大な量の情報が発信されています。これらの情報を単純に受け入れるのではなく、自ら主体的に読み解いていくことが重要です。

多くの情報を批判的な視点も持ちながら分析し、自身がこれから発信する立場になった時に役立てるよう心がけましょう。

4

活用にあたって

このガイドラインは、男女共同参画の視点から、私たち一人ひとりが相手を尊重し、相手の心を傷つけないためにも、どのような表現がより望ましいかを考えていただくために作成したものです。特定の表現を禁じたり、その是非を論じたりするものではありません。これまで何気なく使ってきた表現、何気なく受け取ってきた表現をもう一度立ち止まって、男女共同参画の視点で見つめ直すための判断基準、目安としていただくものです。

広報物を作成する際には、是非、本ガイドラインを参考にして、男女共同参画の視点から、より望ましい表現を考えていきましょう。その際には、できるだけ女性、男性と一緒に考えていくことが望ましいでしょう。皆で考え、話しあうことで、普段、気づかないことが見えてくるかもしれません。その気づきこそが、男女共同参画社会実現への一翼を担っていきます。そして、常日頃から、従来の固定観念に捉われない女性と男性の多様なイメージが社会に浸透するような表現に努めていきましょう。

広報紙やチラシなどの広報物を作成する際に、最後にもう一度、「男女共同参画の視点」から表現の確認をしてみましょう。

視点1 男性と女性いずれかに偏った表現になっていませんか？	
男性、女性が共に参加できる会議や行事などで、男女いずれかのみを描写する表現はありませんか。	☐
視点2 性別によってイメージを固定化した表現になっていませんか？	
男の子はボール遊び、女の子はおままごと、お人形遊びといったような、個性を無視した表現はありませんか。	☐
女性は暖色系の色づかい、男性は黒系統の色づかいという偏った表現はありませんか。	☐
視点3 性別による役割分担を固定観念で表現していませんか？	
女性は結婚したら仕事を退職して専業主婦になるなど、結婚観での決めつけ表現はありませんか。	☐
医者は男性、看護師は女性といった職業観での固定的な役割分担表現はありませんか。	☐
視点4 男性を女性より優位的、また、男女間に主従関係があるような表現をしていませんか？	
父親を大きく、母親を小さく控えめでよりかかる存在として描写するような、男女間で優劣をつける表現はありませんか。	☐
いつも命令するのは男性、命令されるのは女性のように、男女間に能力の差があるような表現はありませんか。	☐
視点5 女性を“アイキャッチャー”にしていますか？	
火災予防のポスター等で伝えたい内容と関係がないのに、水着の女性を描写しているような、女性を性的対象として扱う表現はありませんか。	☐
女性の体の一部分のみをアップして撮影するような、人権を無視した表現はありませんか。	☐
視点6 何気なく使っている言葉を男女共同参画の視点で見直しましょう	
看護婦、保母・保父、スチュワーデスというような、どちらか片方の性別に限定してしまう表現はありませんか。	☐
「〇〇のくせに」などという表現はありませんか。	☐



編集協力：桐生大学（アートデザイン学科）平成 24 年度 卒業生
野村亜希/渡辺満日花/笠原千寿江/鈴木明日香/関口璃那
中島香奈/古畑萌香/村山小波/山口真美

発行日：平成25年3月1日
発 行：大泉町役場 企画部 国際協働課（大泉町住民活動支援センター）
〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町大字吉田2011番地の1
TEL:0276-55-3700 FAX:0276-55-3701
ホームページ：<http://oizumi-kyoudou.jp>